

総務文教

# 外

## 構工事を早急に進めよ 帰町促進を図るための取り組み

町営住宅の修繕状況と災害公営住宅入居について説明を受けました。

各委員より、災害公営住宅は、入居希望者の辞退と入居状況などについて質疑がありました。

総務文教

# 売

## れ残りがないよう計画せよ 復興に向けた造成事業

広野駅東側開発整備事業第1期、第2期取り組みについて説明がありました。

町より、事業用地は会社を持ってくる用地であり、テナント事業用地はビルを造って入居する用地で、いずれも売買ではなく貸与契約との説明がありました。

総務文教

# 万

## 全の体制で計画を進めよ 中高一貫校

これまでの経過と今後の県教育庁との取り組みについて説明を受けました。

町より、現在多くの子どもたちが区域外就学をしている状況もあり、国・県・地域連携のもと教育環境整備に努めたいとの報告を受けました。

※総務文教常任委員会終了後、広野町立小学校・中学校・中高一貫校建設現場の視察及び懇談を行いました。

# 委員会報告

## 状況を報告します。

- 平成26年11月10日 開催
- 平成26年11月11日 開催
- 平成26年11月18日 開催
- 平成26年 9月29日 (第2回) 開催
- 平成26年11月18日 (第3回) 開催

## 委員会の活動

- 総務文教常任委員会
- 産業厚生常任委員会
- 東日本大震災災害復興に関する特別委員会
- 議員定数に関する特別委員会



米の全袋検査

**産業厚生**  
**作**  
付けに希望が持てる施策を  
平成26年産米の作付け

資料に基づき産業振興課長より説明を受け、各委員より要旨次の質疑がありました。

等級検査は、1等米比率が昨年より12%程度アップしていますので結果として農家の努力と行政の各種の補助施策が功を奏したと思われま。

避難からすぐ帰還しない農家の農地管理耕作支援は、27年度から実施してはどうか。

26年度にさかのぼっては農家が混乱しないかなど、各委員より特に出言が多くなりました。

各委員より農家が混乱することがないようすべきであるとの意見が多くあったことを踏まえながらも、来年の作付けにおいて希望が持てる施策を適宜適切に情報発信できるように関係機関等と連携強化を密にするよう提言しました。

**産業厚生**  
**将**  
来を見据えた事業展開を  
ほ場整備事業

資料に基づき産業振興課長より説明を受け、各委員より要旨次の質疑がありました。

※ほ場整備しても担い手が、作業を効率的にできるようにすべきであり、希望するところへ、できるだけ早期に進めるべきである。

亀ヶ崎地区は、20ヘクタール以上あるので工期が平成32年度までである、他の地区は29年度までの工期なので個人負担金が発生する可能性があるのであるなどの質疑がありました。

※生産性の向上とともに農村環境の整備、区画の規模、用排水の整備などを目的とする農地基盤の整備。



みかん狩りを楽しむ幼稚園児



学校内を視察する委員